



第31回社会科学・社会福祉基礎講座

主催 ■ 総合社会福祉研究

社会福祉をめぐる大きな変化をどうとらえるのか、福祉の仕事を進めるうえで何が求められるのか——
社会福祉を科学的に、少人数で学べる「社会科学・社会福祉基礎講座」で一緒に学び、考え、交流しませんか。
「知はちから」——ともに学んで、福祉の未来を切りひらきましょう！



全講座通しての受講をおすすめしますが、半期（前期のみ、後期のみ）の受講も可能で

	コマ	日程		テーマ・ねらい	講師・所属
前期	①	6月2日	13:30～15:30	基礎講座をとおして何を学ぶか 基礎講座のねらいと、企画意図についてガイダンスをします。今回の講座では、国立療養所へ見学にいきますので、ハンセン病についてもビデオやGWなどをつうじて入門講義をおこないます。	深谷弘和 天理大学講師
	②		15:40～18:00		
	③	6月16日	13:30～15:30	ハンセン病の歴史と社会福祉 ハンセン病の歴史と社会はそれをどう受け止めてきたのか。また、社会福祉はそのときどのような支援をおこなったのか等を考えます。今とられている支援は本当に最善なのか。ハンセン病をとおして考えます。	永岡正己 日本福祉大学名誉教授
	④		15:40～18:00		
	⑤	7月7日	13:30～15:30	学びをかたちへ 受講生の皆さんには、国立療養所の見学で学んだことをかたちにします。かたちにするにあたっての方法を学びます。	申佳弥 総合社会福祉研究所 高倉弘士 総合社会福祉研究所
	⑥		15:40～18:00		
	⑦	7月14日	終日	フィールドワーク: 国立療養所長島愛生園 長島愛生園は岡山県にあります。どのような暮らしを送ってきたのか。現地に入り視察し、入所者の方から話を聞きます。*赤穂線日生駅までの交通費は実費。	芦田麗子 神戸親和女子大学講師 入所者の方
	⑧				
	⑨	7月21日	13:30～15:30	ハンセン病から社会福祉を考える 社会福祉の役割を、ハンセン病からみます。隔離に加担した社会福祉労働者の反省をとおして、人権や社会科学的な視点が不可欠なのか、目の前の利用者支援だけをしてはダメだということを学びます。	永岡正己 日本福祉大学名誉教授 回復者の方
	⑩		15:40～18:00		
	⑪	8月11日	13:30～15:30	社会福祉にとって排除と包摂とは フィールドワークや回復者の語りから、それぞれのグループの着眼点からかたちにしていきます。当日は、本誌に幾度も登場している鴻上先生やひろば編集者も同席し、皆さんの思いをかたちへしていきます。	鴻上圭太 大阪健康福祉短期大学教授
	⑫		15:40～18:00		
後期	⑬	10月6日	13:30～15:30	フィールドワーク: 釜ヶ崎 現代の貧困と子どもの貧困 現代の貧困と子どもの貧困を釜ヶ崎のフィールドワークをとおして考えます。講師には、本誌連載の生田武志さんや、映画『さとにきたらええやん』の舞台となったNPO法人こどもの里から荘保恭子さんから釜ヶ崎の現状をお伺いします。また、釜ヶ崎の地域史研究家の水野阿修羅さんをお迎えし、地元の方も知らない釜ヶ崎を案内してもらいます。	生田武志 野宿者支援ネットワーク 荘保恭子 NPO法人こどもの里 水野阿修羅 地域史研究家
	⑭		15:40～18:00		
	⑮	10月20日	13:30～15:30	社会福祉援助論 私たちは何に依拠し何を成すのか フィールドワークで様々な現実を垣間見たのではないのでしょうか。私たちは社会福祉にたずさわっている者は、どのような価値観や論理に基づき福祉と向き合わなければならないのでしょうか。	北垣智基 大阪健康福祉短期大学准教授
	⑯		15:40～18:00		
	⑰	11月17日	13:30～15:30	地域福祉の現状 私たちは何をどうすることができるのか 地域福祉という視点から、利用者に対して何が求められているのか。ほんとうに必要な手立てはなんなのか、何ができるのか、何をしなければならないのかを考えます。	藤松素子 佛教大学教授
	⑱		15:40～18:00		
	⑲	11月24日	13:30～15:30	社会福祉に求められるもの 貧困、排除に立ち向かう方法 社会的排除や貧困をめぐるフィールドワークをとおして、どうすれば現状を打開できるのか。打開するためにはどんな方法があるのか。これまでの実践事例などをふまえ、立ち向かう方法を学びます。	中野加奈子 大谷大学准教授
	⑳		15:40～18:00		
	㉑	12月	13:30～15:30	これからの社会福祉 権利としての社会福祉の発展に何が求められているのかを考えます。	石倉 康次 氏 立命館大学教授 当研究所理事長
	㉒		16:00～17:00	修了式	

■会場 国労南近畿会館（1階会議室）

■受講料【全講座通し受講の場合】

当研究所個人会員 30,000円

一般 40,000円

【前期または後期のみ受講の場合】

当研究所個人会員 20,000円

一般 25,000円

※当研究所団体会員に所属の方は会員料金と異なる場合があります。詳しくは事務局へ。

■定員 30名

■お振込み お申し込み後、一週間以内に下記へお振込みください。

ゆうちょ銀行 00990-0-62868 【加入者名】総合社会福祉研究所

※郵便振替用紙通信欄に「基礎講座受講料」と明記して下さい。

<おねがい>

※都合により、日程・講師が変更になる場合があります。また終了時間は目安ですので、アンケート 記入等で遅くなる場合がありますことをご了承ください。

※手話通訳、保育はありません。講義の録音はご遠慮ください。



■主催（お問合せ・申込先） 総合社会福祉研究所
 〒543-0055 大阪市天王寺区悲田院町8-12 TEL06-6779-4894 FAX06-6779-4895
<http://www.sosyaken.jp> E-mail: mail@sosyaken.jp



お申し込みは当研究所ホームページ(<http://www.sosyaken.jp/>)からも可能です。

下記の受講申込書に必要事項を記入の上、FAX 06-6779-4895 へ送信して下さい

お一人様1枚にご記入下さい。お二人様以上お申込みの場合は、コピーしてご利用下さい。

第31回社会科学・社会福祉基礎講座 受講申込書 2018年 月 日

(すべての項目につき、必ずご記入・選択肢に○をして下さい。未記入の場合はお問い合わせさせていただきます。)

ふりがな		性別	年齢	受講希望
お名前		男・女		全講座・前期のみ・後期のみ
職場名		施設・職場の種別		職種
				福祉の仕事の経験年数
				今年4月で 年め
あなたは研究所の個人会員ですか		・はい ・いいえ 新入会希望は ☐ 有 ☐ 無		あなたの職場は研究所の団体会員ですか ・はい ・いいえ 新入会希望は ☐ 有 ☐ 無
連絡先	自宅	TEL ()		
		FAX ()		
職場		TEL ()		
		FAX ()		
メールアドレス		パソコン		
		携帯		
社会福祉の仕事を選んだ理由を教えてください				
本講座の受講動機を教えてください				
社会福祉について専門的に学んだことは		・ある：高校・専門学校・大学・大学院・資格取得のための講習・その他 ・ない		

■交通・会場案内

国労南近畿会館(1階)

大阪市天王寺区悲田院町8-12(総合社会福祉研究所のあるビルです)

* JR天王寺駅北口から右へ線路沿いに東へ徒歩3分。地下鉄(谷町線・御堂筋線)天王寺駅も同様です。

* 建物玄関にスロープ、1階に車いす用トイレがあります。

* 駐車場はありません。電車・バスをご利用下さい。

